

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年6月20日 No.57

2008年世界大会へ最大の代表派遣を!

2008年世界大会まであと43日となりました。今年の大会は2010年NPT(核不拡散条約)再検討会議に向け核兵器廃絶の世論を地球規模でつくり出す出発点として歴史的な意義をもっています。各地でとりくまれている世界大会にむけたとりくみを順次紹介していきます。

【北海道】

北海道原水協は、世界大会にむけ、積極的な行動を広げています。101自治体の首長からG8サミットで核兵器廃絶を議題とするよう求める日本政府への要請署名が寄せられ、6月11日には政令市では初の札幌市議会で日本政府に対する「非核日本宣言」を求める意見書決議があげられました。サミットを前に実行委員会として「平和で公正な世界」への国際シンポジウムも企画しています。青年も、核兵器のない世界をつくるために、被爆体験の聞き取りや、学習活動、原爆症認定訴訟の支援などを行っている「被爆の実態を伝える札幌青年の会 FoRP」が原爆症認定集団訴訟にかかわっている弁護士と原爆症認定北海道訴訟の原告団長を招いて「Peace Message～被爆の実態と原爆症認定訴訟について知ろう～」を企画するなど奮闘しています。

【秋田】4000羽目標の高校生が1万5000羽集める

秋田県の青年たちは、8月の原水爆禁止世界大会 - 広島にたくさんの人の想いを持って行こうと千羽づるを集めています。昨年の原水爆禁止世界大会に参加した高校生が、帰りの飛行機のなかで被爆地にあった折り鶴のことを思い出し、秋田からも届けたいと思ったのがきっかけ。民青同盟の仲間とともに4000羽を目標に、ピラを作り、駅前で折り紙と一緒に配布するなど大奮闘。それを知った大人からもたくさんの鶴が届けられ、すでに1万5000羽に達しています。

原爆症認定集団訴訟

長崎地裁判決

6月23日午前11時

2010年へ「核兵器のない世界へ」の世論大きく

世界大会実行委員会は6月20日午後、運営委員会をひらき、核兵器をめぐる情勢の進展のもとで今年の世界大会の意義、課題をあらためて確認。全体集会、分科会など基本的なプログラム概要も確認しました。

「核兵器のない世界」を課題にした国際会議が開催されるなど、新たな変化もふまえ、2010年へ向け核兵器廃絶の世論を大きく飛躍させようと意思統一しました。

動く分科会、長崎・国際交流フォーラムの参加費は以下の通り。

【動く分科会 8月5日・広島】

分科会 14「岩国・呉基地調査行動」

一般 6000円、中学生以下 5500円

分科会 15「原爆遺跡・碑めぐり」

一般 4000円、中学生以下 3500円

分科会 16「被爆電車に乗って」

中学生以上 2000円、小学生 1000円

分科会 17「似の島少年少女のつどい」

中学生以上 3000円、小学生 2000円

【長崎・国際交流フォーラム 8月8日・長崎大学中部講堂】

一般 1000円、学生・高校生 500円(資料・同時通訳機材費)